

中学校第1学年 国語科学習指導案
単元名：音読おすすめ講座 6年生に伝えよう
「脳の働きを目で見よう」

指導者 呉市立両城中学校
久保 由佳利

- 1 日 時 平成25年 9月27日（金）第6校時（14時40分～15時30分）
- 2 場 所 第1学年1組教室
- 3 学 年 第1学年（男子13名 女子13名 計26名）

単元について

本単元は、中学校学習指導要領C読むこと（第1学年）イ「文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。エ「文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えをもつこと。」を身につけさせることをねらいとする。

説明的な文章では、論の展開の中心となる部分とそれを支える例示や引用などの付加的な部分とが組み合わされていたり、事実を述べた部分と意見を述べた部分とで構成されていたりする。これらの文章の特徴をふまえて読むことにより、内容を把握することができる。目的や必要に応じて大切な情報を選択し整理することがねらいである。

本単元では、文章中の段落ごとの内容、段落相互の関係を正しく押さえたり、大きな意味のまとまりごとに、文章全体における役割をとらえさせたりする学習をする。文末表現「～しています」「～していません」などという事実の部分と、「～考えられます」「～でしょう」という筆者の考えの部分を読み分けるといふ、事実と意見を区別して読む力を養うのに適した教材である。さらに、言語活動を仕組むことで、読むことに必然性をもたせ、図表や文章の関係、筆者の意図やその効果について考えさせながら、何をどう活用するのかを考えさせていきたい。

調査結果からみる課題

〈誤答分析から〉

- 平成24年度広島県「基礎・基本」定着状況調査 中学校2年国語（平成24年6月実施）
 四2（段落相互の関係の把握） 通過率 67.2% 無解答率 0.0%

(1) 問題の概要

文章の展開に即して、段落相互の関係をとらえる力。

(2) 問題の趣旨

文章の展開に即して段落の役割を的確にとらえることができるかどうかをみる。

(3) 誤答分析

文章の展開に即した段落相互の関係を的確に把握できていないといえる。つなぐ言葉のはたらきをしっかり理解できないことや指し示す言葉が何を指すのかを理解することが不足していると考えられる。また、文章中に出てくるキーワードが文章全体にどのような役割を果たしているのかをしっかりと理解できていないことが原因である。

指導改善のポイント

(1) 単元を貫く言語活動とその特徴について

単元を貫く言語活動として、「おすすめ音読講座 6年生に伝えよう」という言語活動を設定する。（関連：イ 文章と図表などとの関連を考えながら、説明や記録の文章を読む言語活動）「脳の働きを目で見よう」は、音読が効果的であることを図と文章を関連させて書いている。「音読が効果的であること」を6年生に効果的に伝えることを目標として、対象を意識させ、必要な情報を簡潔にわかりやすく説明することを前提として読ませたい。

6年生に対する紹介シートとして表現するには、必然的に、つなぐ言葉や指し示す言葉の働きを意識し、段落相互の関係を考えて情報を取り出す必要が出てくる。また、文章の中心的な部分、付加的な部分のどの部分が、どの図と関連しているのか思考する必要も生まれる。したがって、こ

の言語活動は、付けたい力を付けさせ、思考を深めさせる言語活動であるとする。

(2) 指導内容・指導方法について

説明的な文章の構成や段落相互の関係の把握、要約について理解させるために、次のようなステップで指導をする。

- ① つなぐ言葉や指し示す言葉に着目して、段落どうしを考えさせる。
 - ・形式段落の書き出し部分の言葉が手がかりとなって、段落どうし関係がわかることに気づかせる。
- ② 段落の役割を示す言葉を定着させる。
 - ・話題提示・説明・まとめ、問い・答え・筆者の考えなどの言葉を明示し、説明的な文章の特徴を理解させる。
- ③ キーワードを手がかりに要約する方法を身に付けさせる。
 - ・文章からキーワードを抜き出す方法を学ばせる。
 - ・図に関連したキーワードから、内容をとらえさせる。
 - ・キーワードを組み立てれば、要約となることに気づかせる。

(3) 研究主題とのかかわり

本年度の本校の研究主題「学びを活かし、自分らしく表現できる授業の創造～論理的思考力・表現力を高める指導を通して」を受け、説明的な文章の特徴を理解させることで、説明文の読み方の手がかりを定着させたいと考える。また、段落の内容を事実と意見を整理していく学習を通して、キーワードのとらえ方、説明する力、要約の仕方を身に付けさせたい。

単元の目標及び評価規準

- ・ 文章の構成の理解をもとに、文章と図との関連を考えながら説明的な文章を読もうとしている。 【国語に関する興味・関心・態度】
- ・ 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを見分け、目的や必要に応じて要約したり、要旨をとらえたりすることができる。 【読むこと イ】
- ・ 文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えをもつことができる。 【読むこと エ】
- ・ 指示語や接続語に注意して文章構成をとらえることができる。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(エ)】

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> ・ 文章と図との関連をとらえながら、説明的な文章を読もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 段落の役割や段落どうし関係をとらえて、要約している。(イ) ・ 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを区別して読んでいる。(イ) ・ 文章と図を関連させ、その関係について説明している。(イ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ つなぐ言葉や指し示す言葉の意味を正確にとらえている。(1) イ(エ)

指導と評価の計画

(全 7 時間)

次	学習内容 (時数)	評 価			評 価 規 準	評価方法
		関	読	言		
一	<ul style="list-style-type: none"> 全文を通読して、文章全体の内容をおおまかにつかむ。(1) 「言葉の力 事実・推測・意見を区別する」(P231~233)を読んで言葉の働きを確認する。 	○			<ul style="list-style-type: none"> 学習活動の見通しをもち、文章の内容に興味・関心を示している。 	観察 ワークシート
二	<ul style="list-style-type: none"> 形式段落の書き出しを手がかりに3つの意味段落に分け、段落相互の関係を理解する。(1) 		○		<ul style="list-style-type: none"> つなぐ言葉や指し示す言葉、文末表現を手がかりに、段落どうしの関係をとらえている。 	観察 ワークシート
	<ul style="list-style-type: none"> 文章中の説明を「事実」と「意見」に分ける。(1) 		○		<ul style="list-style-type: none"> 文末表現をもとに事実と筆者の考えを区別して読めている。 	観察 ワークシート
	<ul style="list-style-type: none"> 「音読の大切さ」を伝えるために、キーワードを使って、内容を要約する。(1) 本時 		◎		<ul style="list-style-type: none"> 図に関連する文章中から適切なキーワードを抜き出し、テーマに対する考えを要約することができる。 	観察 ワークシート
三	<ul style="list-style-type: none"> P71~77「図表を使って伝えよう」を参考にして、紹介シートを作成する。(2) 		○		<ul style="list-style-type: none"> 目的に合わせて、情報をまとめ、工夫した紹介シートを作ることができる。 	作品
	<ul style="list-style-type: none"> 作成した紹介シートをグループで推敲し、完成したものをお互いに評価し合う。(1) 		○		<ul style="list-style-type: none"> 文章構成や展開をとらえる上でのポイントを理解している。 	観察 発表

本時の学習

(1) 本時の目標

- 音読についての必要な情報を取り出し、キーワードを整理し、まとめることができる。

(2) 学びの意欲と学びのスタイルの位置づけ

学びの意欲・・・学習することに興味・関心をもち、楽しみながら学習活動に取り組むこと、またはその学習を授業時間並びに家庭において継続・探究しようとする心情や態度。


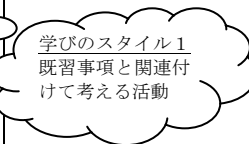
学びのスタイル・・・学習内容を理解し、進めていくための様々な方法であり、次にあげる3つのスタイルのいずれかを授業の中に取り入れる。

(3) 生徒指導三機能の位置づけ

- A 生徒に自己存在感を与える活動内容・・・自分の考えを発表させる。
- B 共感的な人間関係を育成する活動内容・・・ペアワーク・小グループで交流させる。
- C 自己決定の場を与える活動内容・・・キーワードを探す場面で、教科書に自分で線を引かせる。

(4) 本時の学習展開

◆「努力を要する」状況と判断される生徒への手だて

学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
1 本時の目標を確認する。		
<ul style="list-style-type: none"> 前時の復習を行い、本時の目標を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時の学習を想起し、重要な役割をもつ図に注目することを伝える。 	
図とキーワードをを使って、音読の大切さを説明しよう。		
2 音読の大切さを伝えるために、文章中で用いられている図とキーワードを取り出す。		
<ul style="list-style-type: none"> 「音読」のよさを説明するには、どの図が必要か考える。 本時に学習する段落(⑭～⑰黙読と音読の説明が書かれている段落)を音読する。 文章から図に対応する説明の内容を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 10種類の図の中から、選んだ図がなぜ必要か考えさせる。 学習の目的と照らし合わせる。 <div data-bbox="580 757 1158 898" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【予想される生徒の反応】</p> <ul style="list-style-type: none"> 図8・9 (音読の図) 図6・8・9 (音読と黙読の図) 図1・6・8・9 (音読, 黙読, 脳の機能説明の図) </div> <ul style="list-style-type: none"> 必要な情報として、どんなキーワードが必要かを考えさせながら、読ませる。 図を説明している文章から事実(脳のどの部分がどのくらい活性化しているか)と筆者の考えを取り出させる。【C:自己決定】 <div data-bbox="172 1238 1158 1435" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【情報例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 脳が黙読時よりも広い範囲が働く。 大脳の70%以上もの神経細胞が活発に働く。 神経細胞が一度に全力で働く。 音読は、文字言語と音声言語の2つのシステムを同時に使う。 2つのシステムを同時に使うから、これほどまでに活性化すると考えられる。 </div> <p>◆キーワードとなる言葉を見つけられるよう机間支援をする。</p>	
3 【考える】説明する順序について検討する。		
<ul style="list-style-type: none"> 取り出した情報から、要約するために必要なキーワードを発表させ、図に表す。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分でキーワードを選ばせ、全体で交流させる。【B:共感的人間関係】 	
4 【表現する】字数を指定して、説明をまとめる。		
<ul style="list-style-type: none"> キーワードを使い、100字程度でまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 説明する順序と字数に気をつけてまとめさせる。 ◆書き出しを与え、机間支援をする。 	必要な図と情報を取り出し、要約して説明を書いている。(行動観察, ワークシート)

<p>5 【まとめ】 本時のまとめと次時の確認をする。</p>		
<p>・本時の学習のまとめを発表する。</p>		
<p>【生徒のまとめ例】 ・音読する時の脳は、黙読の時より広い範囲の脳の70%以上が働き、活性化しています。これは、音声言語のシステムと文字言語のシステムの両方のシステムを同時に使うからと考えられています。</p>		
<p>・次時の学習を確認する。</p>	<p>・図に関連する文章を選び、そこからキーワードを探すことは、要約のための必要な言葉を選ぶ学習であることを確認する。</p> <p>・次時では、これまでの内容をふまえた紹介シートを作成することを確認する。</p>	<p>学びのスタイル2 学習内容を振り返り、習得したことや課題に気づき、次時につなげる。</p>

リラックスしたい時には...



音楽がおすすめ

Q あなたは、

Jポップとクラシック音楽

どちらを聞きますか？



脳のはたらきを見てみると...



二つの図を比べてみると...

「新しい国語 1」(東京書籍)より

音楽を聞くと、聴覚野のみが活性化します。(＝よく働いています)
 日本語を聞いたりするよりも、他の部分の活動が収まるので、脳をリラックスさせることができると考えられています。実は、クラシック音楽を聞く時とポップスを聞く時を比べてみると、クラシック音楽の方がよりいっそう活動が収まっています。

アドバイス

リラックスしたいときには、音楽を聴くことも一つの方法です。クラシック音楽を聞くと、さらにいっそう脳の活動が静まります。
 たまには、クラシック音楽も聴いてみてはどうですか？